

1. 特に効果的であり改善に資した事例について

A. コースワークの充実・強化

①人材養成目的に沿った科目構成の整理

《人社系》

●関西大学総合情報学研究科社会情報学専攻

「参加連携型の大学院教育による社会創造」の事例

(具体的に何を実施したのか)

情報手段を用いて社会を創造する力を持つ人材の育成のために、国内外組織との連携した共同プロジェクトに取り組んだ。この共同プロジェクトの企画・運営に必要な知識・技能を培うために、新たに現地での利害調整の方法を学ぶ「協動的交渉論」、フィールドワークのデータから論文を執筆する「質的研究(エスノグラフィ)」の科目を提供した。また、研究成果を国際学会で発表するため「英語論文執筆実習」や、専門的な内容を英語で学ぶための「ICT for Learning」を新設した。さらに、フィールドで体験的に学ぶ「共同プロジェクト実習 I、II」「国際・地域フィールドワーク実習 I、II」も開設した。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

- ・英語論文執筆に関する実地学習カリキュラムの共同開発をハワイ大学と共同で進め、英語能力強化のカリキュラムの共同開発を行なった。
- ・JICA や国連機関、国内外の NGO/NPO などと連携してインターンシップ、フィールドワークを含む実習科目を導入して単位認定を行った。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

講義の充実により、共同プロジェクトの実施に際して起きる事象の理解が促進され、共同プロジェクトを対象とした論文の本数が向上した。特に、英語論文執筆のための新設科目が完全に施行された 22 年度には、それまでの 2 倍にあたる 21 件の英語論文が投稿された。

1. 特に効果的であり改善に資した事例について

B. 円滑な学位授与の促進

⑤ポートフォリオ等を活用した到達度の把握と研究指導の充実

《人社系》

●関西大学総合情報学研究科社会情報学専攻

「参加連携型の大学院教育による社会創造」の事例

(具体的に何を実施したのか)

カリキュラムを体系的に構成し、効率的に学生を指導するために、ID（インスタラクショナル・デザイン：教授設計）に基づいた目標管理を行い、eポートフォリオ評価を導入して実践した。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

- ・IDによって、情報手段を用いて社会を創造する力の育成に対して具体的な下位目標を設定し、スモールステップで目標を達成させる方法を用いた。また、その過程をeポートフォリオに記録させ、自律的な学習を促すと同時に、きめ細かい指導・評価を行った。
- ・eポートフォリオの内容をまとめさせ凝縮ポートフォリオとすることで、年度毎に学生自身に更なる振り返りを行わせた。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

プログラムで求める情報手段を用いた社会を創造する力について、学習活動を記録させるポートフォリオと、そのサマリーである凝縮ポートフォリオを用いて、27項目より成るルーブリックにより活動の目標を明確に示し、個々の学生の評価を行うことができた。

1. 特に効果的であり改善に資した事例について

D. 産業界、地域社会等多様な社会部門と連携した人材養成機能の強化

①国内外におけるインターンシップ・フィールドワークの充実

《人社系》

●関西大学総合情報学研究科社会情報学専攻

「参加連携型の大学院教育による社会創造」の事例

(具体的に何を実施したのか)

情報手段を用いて社会を創造する力を持つ人材の育成のために、国内外の組織（他大学、学校現場やNGO/NPO、国連機関など）と連携した共同プロジェクトに取り組むとともに、それぞれの組織へのインターンシップや、フィールドワークを継続的に実施した。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

インターンシップや、フィールドワークに参加する学生の評価を工夫した。web2.0 ツールを用いることにより、学外における学生の研究活動を教員が把握する試みを導入し教育に活かした。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

海外でのインターンシップやフィールドワークは、他大学の活動モデルとなっている。たとえば、日本福祉大学では、毎年カンボジアや台湾などでの海外研修プログラムを実施しているが、その運営方法は本プログラムの手法や考え方を参考にしている。京都外国語大学においても、インドの大学生と連携をして、フィールドワークを行う海外活動が実施されている。摂南大学でも、本プログラムの仕組みをフィリピンのフィールド学習に応用している。